

多田商店

宝飾品加工を続けて50年
これからも一生、
職人を続けます

高価な時計
預かるとは、
家族にも
秘密です



代表 多田 孝之さん

親父の友人だった師匠に弟子入りし、貴金属加工の技術を修得。5年後に独立し、今の工房を構えました。指輪のデザイン変更、想い出の詰まったジュエリーのリフォームなど、高価な宝飾品も、道具を使って削り成形し磨いて仕上げます。ひとつひとつ、手作業なので、削りや磨きなど手の感覚が命ですわ。

取引先は、ジュエリー販売店や百貨店内の宝飾店です。黄綬褒章や職人技能コンテストで受賞したことで、さらに契約店が増えました。今ではご依頼をこなすだけで精一杯。ありがたい話です。

職人は、技だけに頼ってはいけません。待っていても仕事は来ません。技をアピールすること、それが厳しい時代を生きぬくこれからの職人に必要な術です。私の場合、コンテストや賞だったり、さまざまな方との人間関係を築くことだったり。昔のようながんこな職人ではなく、お客様のご要望に応えるサービス提供者として、職人であり続けようと思っています。



歯医者さんの治療で使うのと同じ「シリコンポイント」で成形。中国、粗目など使い分けて磨く。ネーダムというモーターに取り付けて研磨する。

まるで歯医者さん



女性相手の仕事だから、女性的な感覚が必要ですね

100均で
買い占めることも



同じような作業をしても、師匠(父)と自分の違いは、指輪の輝きが全然違います。

息子の多田孝之さん、37歳

多田孝之さん、37歳、多田商店の職人として活躍中。父の技術を継ぎ、お客様に最高の作品を提供することを目指しています。

仕事中は親父ではなく、師匠と呼んでいます



サクラ材の
たたき台

木につくった溝を利用して、
指輪の溝をつくりだすから作る。
木が柔らかいので、金もほぐし、
輝きが長持ちする。



動物は
大好きです
ね



自由にさせて
もらってます



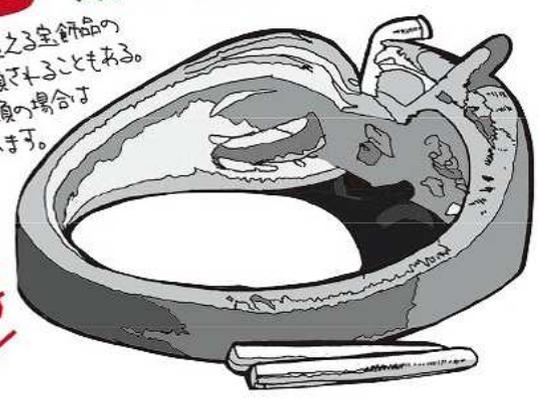
ウサギ

我が社の
自慢

黄綬褒章、現代の名工など
数々の賞を受賞!

時に、10の億を超える宝飾品の
リフォームの依頼も受ける。海外からの
依頼の場合、スケジュールも違います。

仕上げが
違います



多田さんは、昨年秋に天皇から贈られる黄綬褒章を受章。これまでも、平成7年の「技能グランプリ」に大阪府代表として出場し優勝。平成22年には、「現代の名工」として表彰されている。まさに、技能レベルの高さが認められた証だ。

思い出の指輪を蘇らせる 宝飾品加工の プロフェッショナル

指輪の台座やリング部分のリフォームを行う貴金属加工。お客様からのデザイン変更の注文にあわせて加工する。扱う金属は、プラチナが9割、18金が1割。加工方法は素材によって少し異なるが、金属をたたいて形づくり、やすりで削って整形、ヘラで地金を固くしめ研磨剤で磨き、さらに表面の凹凸をなくし艶を出すため細かく磨くというのが作業の流れ。金属をたたくことで、輝きを長持ちさせる効果があるそう。

簡単なリフォームやサイズ直し、デザイン画まで付いたこだわりのリメイクなどオーダーもさまざま。見たこともないような高価なジュエリーを担当したこともある。すべてに共通するのは、リフォームをしてまで長く身につけたいという商品で、お客様の思い出がたくさんつまっていること。だからこそ、一つひとつ、丁寧な手作業で完璧に仕上げることが求められる。

丁寧な仕事が評判を呼び、結果がダメだとすぐに切られる厳しい職人の世界で、多田さんをお願いしたいという依頼が絶えない。「一流には誰でもなれますが、超一流になるにはうるさく注文してくれるお客様がいなくなれません。私は、そんなお客様との出会いを大切に、高い要望にも応えてきました」。難しい注文にも誠実に向き合い、お客様の思い描くデザインに仕上げてきた。

現在、32歳になる息子の一步さんも同じ道に進んでいる。父であり師匠でもある孝之さんの背中を追いかけて、技術に磨きをかける。

多田商店

〒544-0033 大阪市生野区勝山北1-10-16
TEL・FAX 06-6731-1003

事業内容 / 宝飾品、貴金属加工(指輪やペンダント加工などのリフォーム、デザイン変更などを行う工房)